

学校だより

なかはた

令和4年 2月 2日
渋谷区立中幡小学校

中幡小学校
ホームページは
こちらから!!→



中幡小学校 3つのルール

あいさつ あとしまつ あさごはん

オンラインで つながり 学ぶ

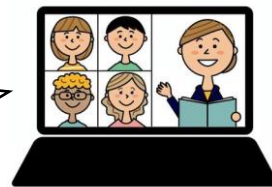
副校長

令和4年1月21日(金)から、東京都に「まん延防止等重点措置」が出されました。中幡小学校では感染症対策を取りながら、学校生活を送っています。これまでよりも控えなくてはいけないもの、この状況だからこぞできるものなどを模索しながら、子供たちの活動が充実したものになるように取り組んでいます。

1月中旬のある日、1年2組の教室で国語の授業が行われていました。「もの名まえ」の学習です。まとめた名前の「上位語(例:「食べ物」「乗り物」など)」と、具体的な名前の「下位語(例:「りんご」「バイク」など)」を学んできた子供たちが、集めた言葉を使ってお店屋さんごっこをするために準備をしていました。この日はオンライン授業も始まっていて、3名が自宅からカメラとマイクをオンにして参加しており、私もオンライン上で授業の様子を見ていました。

しばらくすると、担任から「では、それぞれで作る時間にします。」と指示が出ました。「品物カード」を作ることになっているようで、教室からは活動に取り組む子供たちの声が聞こえてきました。その時、次のような子供同士の会話がオンライン上で交わされました。

「ねえ、どうする？」
「私はペットショップにするから、犬を描く！」
「僕はどうしたらいいかなあ？」
「じゃあ犬にしたらいいいんじゃない？」
「うん、そうする！」



(イメージ)

教室とは別の場で、迷っている子がつぶやいたところ、それを耳にした別の子が応えることで課題が解決され、それぞれが前向きに活動に取り組む姿がそこにありました。何気ない会話のようですが、一方的に聞くだけの授業では生まれない、まさに空間を超えた関わり合いによる学びがオンライン上で生まれた瞬間でした。



教室と保育園と自宅をつないで、
「就学前オープンスクール」を実施しました。

他の学年・学級でも、授業後の黒板を共有する、デジタル教科書を画面で共有して解法を一緒に考える、教室から指名して教科書を声に出して読む、自分の考えをチャットに入力して自宅から参加するなど、活動が広がっています。児童の自発的な行動もあり、学びの新しいスタイルが生まれつつあります。また、「就学前オープンスクール」(幼稚園・保育園との交流)もオンラインで実施し、学校と保育園をオンラインでつないで交流することができました。

今年度は残り2カ月。学年の学習もいよいよ大詰めを迎えます。感染状況は厳しいですが、それに合わせて感染症対策を確認し、オンラインを活用するなど、可能な形での学びをすすめていきます。中幡小の子供たちにとって最良の学びの場となるように、これからもできることを模索し、取り組んで参ります。

感染症対策として、特に下記の点をご確認ください！

- ◆ 毎朝の検温と健康観察を実施し、**健康観察表に記録して必ず持たせてください。**
- ◆ **ご家族及び児童本人が、①「体調に変化等がある場合」や②「PCR検査等を受ける場合」、③「陽性判定となった場合」などは登校を控えるようにお願いします。**

日	曜	2月 行事予定
1	火	
2	水	ノースクリーンデー
3	木	1,2年生午前授業 安全指導 新1年生保護者会
4	金	オーケストラ鑑賞教室(5年生) →授業での動画鑑賞に変更
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	委員会活動
9	水	全学年午前授業(4年1組のみ5時間授業)
10	木	保護者会(日光高原学園説明会 6年生)
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	やまぶき面談期間始 保健委員会発表(全校朝会)
15	火	学校保健委員会
16	水	全学年午前授業
17	木	
18	金	
19	土	土曜授業日(全学年午前授業給食無し) 学校公開 鼓笛隊移杖式
20	日	
21	月	
22	火	クラブ活動(3年生クラブ見学) やまぶき面談期間終
23	水	
24	木	社会科見学(5年生)
25	金	たてわり班活動(5,6年生)
26	土	
27	日	
28	月	日光高原学園 ~3/1(6年生)

※避難訓練は予告なしで実施予定です。



鼓笛隊移杖式

日時 令和4年2月19日(土) 3校時 10時15分より
場所 中幡小学校 校庭 ※雨天の場合、体育館

第56代鼓笛隊から第57代鼓笛隊への引き継ぎが行われます。移杖式を終えると、第56代鼓笛隊は1年間の責任を果たし、その活動を終わります。6年生はこれまでの練習の成果を披露し、5年生にこれまでの伝統を引き継ぎます。1年生から4年生は、各教室にてリモートでの鑑賞となります。

* 感染症対策のため、参観は6年生の保護者及び学校運営協議会委員のみとさせていただきます。5年生は指揮杖と各楽器の引継ぎのみとなります。

* 今後の状況により実施方法を変更することも予想されます。ご了承ください。

特別支援教室「やまぶき」から



「冬の寒い日にヤマアラシたちが寒さを防ぐため、互いの体を近づける。近づいてみると自分のハリで相手を傷つけてしまう。相手のハリも自分に刺さる。お互いのトゲが刺さるため、離れて過ごさざるをえなかった。仕方なく離れると今度は体が凍えてしまう。」これはドイツの哲学者ショーペンハウアーの寓話です。「ヤマアラシのジレンマ」という名で知られています。

「ヤマアラシのジレンマ」とは、他人との距離感を縮めた一方で、距離が近づきすぎてお互いに傷つき合いたくないというジレンマです。人は、誰でも家族、友人、知人などを求め、その関係性に悩みながら日々の生活を送っています。「ヤマアラシのジレンマ」は、そうした人の葛藤をうまく捉えていると思います。

インターネット等で「ヤマアラシのジレンマ」を検索するとこのジレンマの具体例がたくさん出てきます。そこにはその解決策も載せてあることが殆どです。しかし、実際はその「適度な距離を探すまでが難しい」のではないのでしょうか。

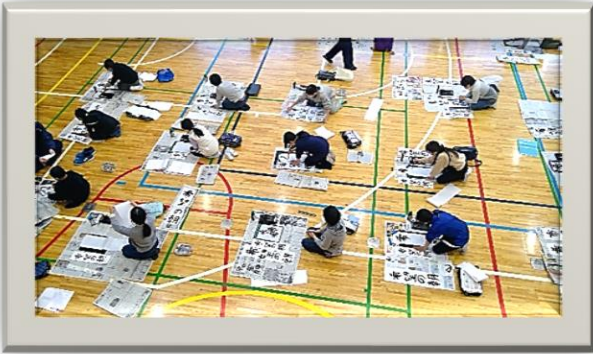
AIと呼ばれる人工知能が発達してもボタン一つで何でも解決できるわけではありません。一つ一つ試行錯誤しながら「適度な距離」を見つけ出す努力を続ける以外にないと思うのです。やまぶきではこれからも焦らず、諦めず、弛まらずにこれからの課題に取り組んでいきたいと考えています。

巡回指導教員

席書会・書き初め展

一月十二日(水)・十三日(月)の二日間、三年生以上の児童は体育館にて毛筆で、一、二年生は各教室にて硬筆で、それぞれ席書会を行いました。新年を迎え、一人一人が心を整えながら文字を書くことができていました。

その後作品は一月十七日(月)から二十一日(土)の間廊下に展示され、児童がお互いの作品の良さを見つけ合っていました。



3年生 そろばん教室

1 / 13 (木)、14 (金) は日本珠算連盟の先生をお招きし、そろばん教室を実施しました。初めてそろばんに触れる子どもも多く、どのように使えば計算できるのか、子供たちは興味津々な様子でした。計算方法を教えてもらおうと、あっという間に上達していき、「もっと難しい問題に挑戦したい!」と先生にお願いするほどになりました。



委員会活動

各委員会で、「コロナ禍でもできること」を一生懸命考え、昨年度ではできなかった活動にたくさん取り組むことができました。行事では、代表委員会を中心にあいさつキャンペーン、中幡ミニまつりオンラインを行いました。また、学芸会ではそれぞれの委員会で知恵を絞り、演目紹介としてオンライン放送や掲示をしたり、ソフトを使用してプレゼンテーション動画を作成・放映したりするなど、活動制限がある中でもよりよい学芸会にしようと活動しました。主体的に取り組む子供たちの姿が頼もしかったです。

例年の活動が戻りつつ、新しくできることも増えました。来年度の委員会活動がより主体的になり、中幡小学校の発展につながることを願います。



タブレット保管庫の点検
(ICT 委員会)



あいさつ運動
(代表委員会)